

我が国の「成果主義」の道路行政マネジメントについて

道路行政においては、平成15年度より、全国の渋滞時間を1年間で約2.5%削減する等、毎年度の数値目標を設定し、事後に達成度を評価する「成果主義」の行政運営を推進しているところ。

平成15年度に採用した具体的な数値目標は以下の通り。

政策テーマ	指標	H14実績	H15目標	H19目標	
1. 活力 -都市再生と地域連携による経済活力の回復-	道路渋滞による損失時間 (渋滞モータリング区間)	6.1億 人時間/年	5.9億 人時間/年 (2.5%削減)	約1割 削減	
	ETC利用率	全国	5%	15%	70%
		首都高速	6%	20%	85%
		阪神高速	3%	15%	85%
	路上工事時間	235 時間/km・年	225 時間/km・年 (4%削減)	約2割 削減	
	規格の高い道路を使う割合 (カッコ内は新たに規格の高い道路への 転換を図る目標交通量)	13%	13% (210万 台初/日転換)	15%	
	拠点的な空港・港湾への 道路アクセス率	59% (39箇所へアクセス)	61% (40箇所へアクセス)	68%	
	隣接する地域の中心の都市間が 改良済みの国道で連絡されている割合	72%	73%	77%	
⑦ 日常生活の中心となる都市まで、 30分以内で安全かつ快適に 走行できる人の割合	63%	64% (60万人の アクセス向上)	68%		
2. 暮らし -生活の質の向上-	1日当たりの平均利用者数が 5,000人以上の旅客施設の周辺等の 主な道路のバリアフリー化の割合	17%	21%	約5割	
	市街地の幹線道路の 無電柱化率	7%	8%	15%	
3. 安全 -安全で安心できる 暮らしの確保-	道路交通における死傷事故率	118件 /億台キロ	116件 /億台キロ	108件 /億台キロ (約1割削減)	
	道路構造物保全率	橋梁	86%	87%	93%
		舗装	91%	現在の水準を維持	
災害時に広域的な救援ルートが確保 されている都市の割合	66%	68%	76%		
4. 環境 -環境の保全・ 美しい景観の創造-	CO ₂ 排出削減量	-	平成22年度までに運輸部門における CO ₂ 排出量を約250百万t-CO ₂ まで削減		
	NO ₂ 環境目標達成率	64%	67%	約8割	
	SPM環境目標達成率	-	約1割	約6割	
	夜間騒音要請限度達成率	61%	63%	72%	
道路行政の 改革	道路利用者満足度	2.6点	2.7点	3.0点	
	⑰ ホームページアクセス数	1,546万 アクセス/年	2,600万 アクセス/年	約1億 アクセス/年	

<注> ゴシック体の指標は、社会資本整備重点計画に位置付けられたもの